

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2012年 12月 25日

派遣者氏名（専門分野）	吉本真由美（英語学）
-------------	------------

派遣期間	2012年 7月 28日 ～ 2012年 8月 26日
------	-----------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
アメリカ	ボストン	ハーバード大学

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

ハーバード大学図書館の利用法について

ハーバード大学の図書館は世界で最大規模の蔵書数を誇り、図書館の数も多い。派遣者は、なかでもその中心的な役割を担う **The Harry Elkins Widener Memorial Library**（ワイドナー記念図書館、通称 **Widener Library**）を利用した。本報告は、**Widener Library** を利用するまでの手続きについて記す。

まず、図書館の入り口には、「入館にはハーバード ID を提示すること」と掲示されているが、図書館を利用するために最初に訪問しなくてはならない **Privilege Office** はこの入り口の中にある。掲示を見てためられるかもしれないが、**Privilege Office** までは ID カードの提示なしでアクセスできるので、そこで利用申請を行う。図書館を利用したい旨を **Privilege Office** で述べると、面接が行われる。面接では、身分や研究分野、この図書館を利用しなければならない理由、閲覧したい図書などを説明する。それに加えて、申請者が大学の **faculty** の場合、所属大学の ID カードを提示する必要がある（本派遣者はパスポートの提示も求められた）。申請者が学生（**Ph.D. Candidate**）の場合は、これに加えて推薦書が必要であるようだ。

面接後、特に問題なければ、図書館入館カードに貼付する写真を撮影し、入館カードを即日で作成してもらえる。他大学の **faculty** および学生の場合は、**Visiting Researcher Card** という、有効期間 3 ヶ月間の入館証を無料で発行されるが、これだけでは書庫にはアクセスできない。書庫にアクセスする場合は、**Special Borrowers Card** を入手する必要がある（こちらは無料ではなく、3 カ月で 275 ドル、半年で 450 ドルだった）。前者のカードは、**Reading Room** や辞書類、一部の定期刊行物などにしかアクセスできないため、注意が必要である。

また、ハーバードの学生ならば、図書館内やその他キャンパス内でも **wi-fi** を利用することができるが、他からの訪問者は利用できない。このため、書庫の蔵書検索など、インターネットを利用する際には、館内に設置されているパソコンを使う必要があった。